

法人理念	<p>✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にします。</p> <p>✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。</p> <p>✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。</p>							
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週水曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有	
支援方針	<p>テーマ「衣服」を通して言葉の発達を促す。</p> <p>様々な衣服を着ることで、ボタン、紐を通す、スナップなど開閉も行い手先の巧緻性を高めていきます。また地域へ散歩に出かけ、警察、消防署、ドーナツ屋さんと写真を撮りそれぞれに制服があることに気が付いて同じような格好をすることで、ごっこあそびを深め言葉でのやり取りを促していきます。</p>							

項目	支援内容
本人支援	<p>健康・生活</p> <p>戸外に出る時に上着を着るなど、気温の変化に合わせた衣服の調節が出来るようにする</p> <p>手洗い、うがいを丁寧に行う</p> <p>・おやつの準備・帽子をかぶる・衣服を畳む・固形石鹸で手を洗う・靴、靴下を履く・できない時は「てっだつて」と言う・戸外では担任、友だちと手をつなぎ安全に歩くなど、身の回りこと、過ごし方など伝えていく。</p>
	<p>運動・感覚</p> <p>体を動かす気持ち良さを感じる</p> <p>かがむ、しゃがむ、投げる、跳ぶ、くぐる、くぐり抜ける、這うなどの活動を行う</p> <p>友だちと一緒に「てんやのおもち」のわらべうたを行い協同活動を楽しむ</p>
	<p>認知・行動</p> <p>冬の気候や変化を肌で感じる</p> <p>戸外の寒さ、植物など見て冬の季節を感じ、気持ちの言語化を担当が行い冬を身近に感じて行けるようにする。</p> <p>身近な衣服の素材に触れる</p> <p>毛糸、フリース、綿、ビニルなど触る。「暖かい」「気持ちいい」を感じる</p> <p>靴下、衣服袖など裏返っているものを直す</p> <p>一緒に行いながら一人で出来るように促す。</p>
	<p>言語コミュニケーション</p> <p>衣服に関する言葉を表現する</p> <p>「ズボン」「スカート」「ワンピース」「シャツ」「ポケット」「そで」「靴」「靴下」「履く」「脱ぐ」「着る」「ひっくり返す」「ボタン」「ジッパー」「帽子」「くし」「イヤリング」「カバン」など</p> <p>自分で衣服を着る、着飾ることで言語表現を促し、またごっこあそびを深め友だち、担任と会話を楽しむ。</p>
	<p>人間関係社会性</p> <p>ごっこあそびを楽しむ</p> <p>服を着ることで役になりきってあそぶ。また服を着ることで友だちと共通のイメージを持つ。</p> <p>ご近所散歩</p> <p>交番、消防署、ドーナツ屋さん、車屋さんなど見学に行く。</p>
歌・絵本など	<p>絵本「どうすればいいのかな?」「わたしのワンピース」「あけて・あけてえほんひきだし」「ぼくのいろいろなあに」</p> <p>歌絵本「北風小僧の寒太郎」「ひとつひばちで」「鬼のパンツ」</p> <p>わらべうた「てんやのおもち」</p>
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	地域散歩 警察署・消防署・洋服屋など
移行支援	通園している保育園との連携、情報共有を行う
家族支援	カラフル親の会 勉強会の紹介 2月20日「小学校から就労まで 進路について」
職員の質の向上	身体拘束の適正化のための対策を検討する委員会による研修
主な行事等	